【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成28年4月7日(2016.4.7)

【公開番号】特開2015-53073(P2015-53073A)
【公開日】平成27年3月19日(2015.3.19)
【年通号数】公開・登録公報2015-018
【出願番号】特願2014-225009(P2014-225009)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/048　(2013.01)
Ｇ０９Ｆ　19/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/0481　(2013.01)
Ｈ０４Ｍ　1/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｑ　30/02　(2012.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/048　６５５Ａ
Ｇ０９Ｆ　19/00　Ｚ
Ｇ０６Ｆ　3/048　６５７Ａ
Ｈ０４Ｍ　1/00　Ｒ
Ｇ０６Ｑ　30/02　１５０

【手続補正書】
【提出日】平成28年2月19日(2016.2.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
端末装置であって、
第１コンテンツと第２コンテンツとを受け付ける受付部と、
前記端末装置に関する物理的な状態を検知する検知部と、
前記第１コンテンツと前記第２コンテンツとを重ねて表示するとともに、前記第１コンテンツに含まれる所定の表示領域と重なる前記第２コンテンツの領域を選択可能な状態で表示し、前記検知部による検知結果に応じて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる表示部と
を備えたことを特徴とする端末装置。
【請求項２】
前記表示部は、
前記第１コンテンツと重ならない前記第２コンテンツの領域を選択可能な状態で表示するとともに、前記第１コンテンツと重なる前記第２コンテンツの領域を選択不可能な状態で表示する、
ことを特徴とする請求項１に記載の端末装置。
【請求項３】
前記表示部は、
前記第１コンテンツが表示されない領域と重なる前記第２コンテンツの領域を選択可能な状態で表示する、
ことを特徴とする請求項１又は２に記載の端末装置。
【請求項４】

前記表示部は、
前記検知部による検知結果に応じて前記第２コンテンツの表示位置を変化させる、
ことを特徴とする請求項１～３のいずれか一つに記載の端末装置。
【請求項５】
前記表示部は、
表示位置を変化させた後の前記第２コンテンツと重なる前記第１コンテンツの領域に所定の情報が表示される場合に、前記第１コンテンツの前面に前記第２コンテンツを選択可能な状態で表示する、
ことを特徴とする請求項４に記載の端末装置。
【請求項６】
前記表示部は、
前記第２コンテンツにおける変化後の表示態様が所定の条件を満たした場合に、前記第１コンテンツの前面に前記第２コンテンツを選択可能な状態で表示する、
ことを特徴とする請求項１～５のいずれか一つに記載の端末装置。
【請求項７】
前記表示部は、
前記検知部による検知結果に応じて、表示対象とする前記第２コンテンツの領域を変化させる、
ことを特徴とする請求項１～６のいずれか一つに記載の端末装置。
【請求項８】
前記検知部は、
前記物理的な状態として前記端末装置における物理的な動きの変化を検知し、
前記表示部は、
前記検知部によって検知された動きの変化と連動させて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる、
ことを特徴とする請求項１～７のいずれか一つに記載の端末装置。
【請求項９】
前記検知部は、
前記物理的な状態として前記端末装置の周囲における照度を検知し、
前記表示部は、
前記検知部によって検知された照度と連動させて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる、
ことを特徴とする請求項１～８のいずれか一つに記載の端末装置。
【請求項１０】
前記表示部は、
前記第１コンテンツと重なる前記第２コンテンツを前記第１コンテンツよりも透過性のある状態で表示する、
ことを特徴とする請求項１～９のいずれか一つに記載の端末装置。
【請求項１１】
端末装置に関する物理的な状態を検知する前記端末装置から、第１コンテンツの取得要求を受け付ける受付部と、
前記受付部によって前記取得要求が受け付けられた場合に、第２コンテンツとともに表示される前記第１コンテンツと、前記第１コンテンツに含まれる所定の表示領域と重なる前記第２コンテンツの領域を選択可能な状態で表示させる制御情報であって、前記端末装置によって検知された物理的な状態に応じて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる制御情報とを配信する配信部と
を備えたことを特徴とする配信装置。
【請求項１２】
端末装置が実行する表示方法であって、
第１コンテンツと第２コンテンツとを受け付ける受付工程と、

前記第１コンテンツと前記第２コンテンツとを重ねて表示するとともに、前記第１コンテンツに含まれる所定の表示領域と重なる前記第２コンテンツの領域を選択可能な状態で表示し、前記端末装置に関する物理的な状態を検知する検知部による検知結果に応じて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる表示工程と
を含んだことを特徴とする表示方法。
【請求項１３】
端末装置に実行させる表示プログラムであって、
第１コンテンツと第２コンテンツとを受け付ける受付手順と、
前記第１コンテンツと前記第２コンテンツとを重ねて表示するとともに、前記第１コンテンツに含まれる所定の表示領域と重なる前記第２コンテンツの領域を選択可能な状態で表示し、前記端末装置に関する物理的な状態を検知する検知部による検知結果に応じて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる表示手順と
を前記端末装置に実行させることを特徴とする表示プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
しかしながら、上記の従来技術では、広告コンテンツ等のコンテンツに対してユーザを注目させやすくすることができるとは限らない。具体的には、第２のレイヤに広告コンテンツを表示する従来技術では、情報コンテンツの後ろに広告コンテンツを表示しているに過ぎないので、広告コンテンツの広告効果を向上させることができるとは限らない。また、ウェブコンテンツのリンク機能を無効にする従来技術では、ウェブコンテンツの印象が悪くなることから広告効果の低下を招くおそれがある。このようなことから、上記の従来技術では、広告コンテンツ等のコンテンツに対してユーザを注目させやすくすることができるとは限らない。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本願は、上記に鑑みてなされたものであって、広告コンテンツ等のコンテンツに対してユーザを注目させやすくすることができる端末装置、配信装置、表示方法及び表示プログラムを提供することを目的とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
実施形態の一態様によれば、広告コンテンツ等のコンテンツに対してユーザを注目させやすくすることができるという効果を奏する。